

山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画（案）

2015～2024

スポーツを通じて

豊かな市民生活の実現



山陽小野田市
SANYO ONODA CITY

平成●●年（●年）●月

はじめに



目 次

第1章 計画策定の基本的考え方

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1 計画策定の趣旨 | 1 P |
| 2 スポーツによるまちづくり推進計画の位置付け | 2 P |
| 3 計画の期間 | 3 P |
| 4 スポーツの定義 | 3 P |

第2章 スポーツを取り巻く環境

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 少子・高齢化と人口減少 | 4 P |
| 2 子どもの生きる力 | 5 P |
| 3 地域の連帯感 | 6 P |
| 4 健康志向 | 6 P |

第3章 本市のスポーツを取り巻く状況

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 市民のスポーツに対する意識 | 7 P |
| 2 スポーツ施設の利用状況 | 13 P |

第4章 計画の基本的な考え方

- | | |
|--------------|------------|
| 1 基本理念（目指す姿） | 14 P |
| 2 基本目標 | 14 P |
| 3 基本方針 | 15 P |

第5章 施策推進のための取組

- | | |
|---------------|------------|
| 1 生涯スポーツの推進 | 16 P |
| 2 競技スポーツの推進 | 19 P |
| 3 「人財」の育成 | 20 P |
| 4 地域の活性化と環境整備 | 22 P |

第1章 計画策定の基本的考え方

1 計画策定の趣旨

国においては、昭和36年（1961年）に、我が国初めてのスポーツに関する法律として「スポーツ振興法」が制定されました。

その後、制定から50年余が経過し、スポーツは広く浸透し、スポーツを行う目的も、スポーツ自体を楽しむことはもとより、健康の維持・増進、余暇の活用、地域・国際間の交流など多様化し、スポーツを取り巻く環境も、プロスポーツの発展、民間スポーツクラブや総合型地域スポーツクラブの増加、地域経済活性化への期待などと変化してきました。

また、時代の変化に応じて、従来の「スポーツ振興法」を全部改正し、新たに平成23年（2011年）に「スポーツ基本法」を制定、平成24年（2012年）には「スポーツ基本計画」（*1）を策定しました。

「スポーツ基本計画」第10条では、都道府県及び市町村も、その地方の実情に即したスポーツに関する計画を定めるよう努めることとしています。

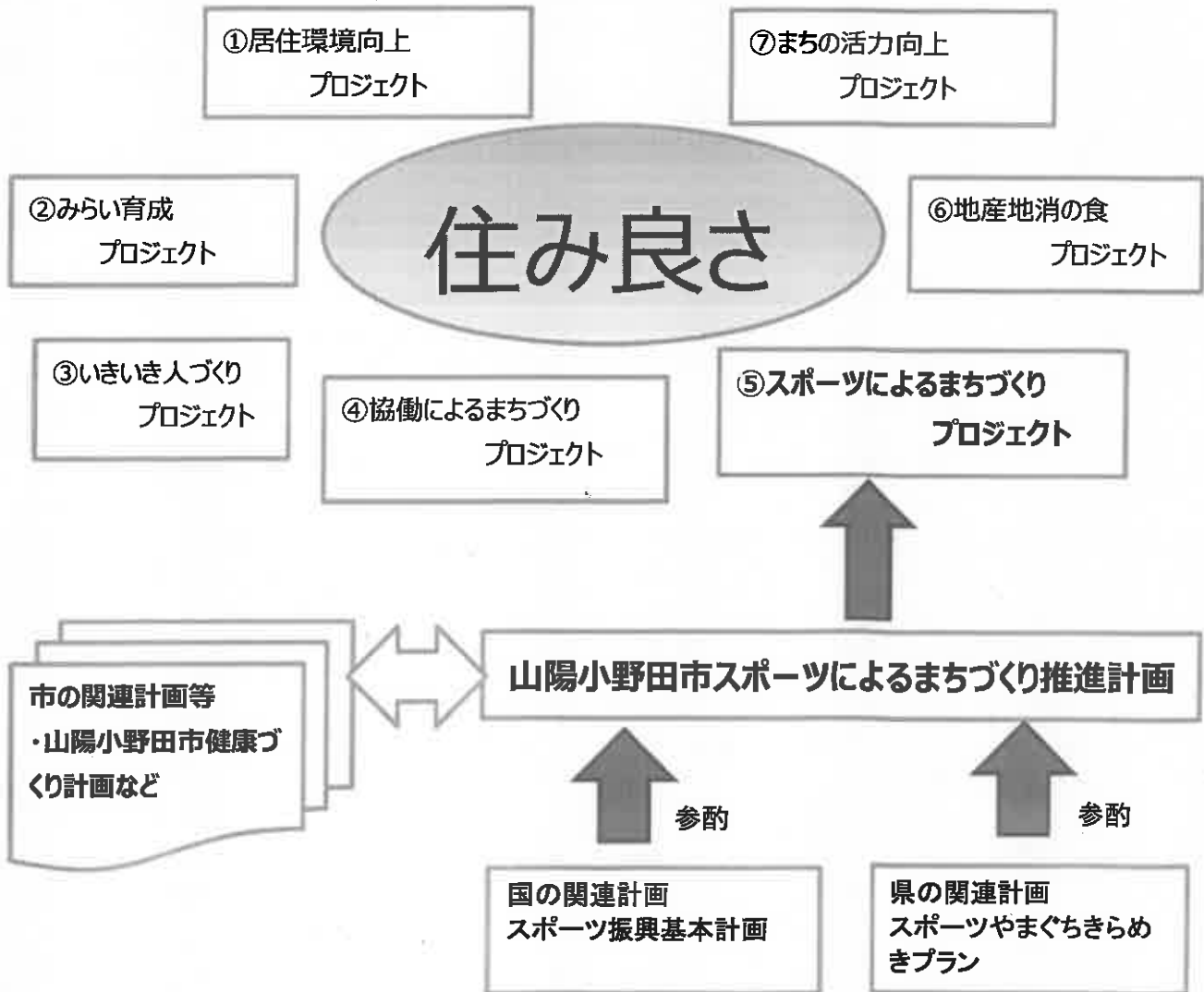
これを受け、山口県では、平成25年（2013年）3月、スポーツのもつ多面的な力を重視し「山口県スポーツ推進計画」を策定しました。本市においても、市民の誰もが、スポーツを通じて健康で豊かな生活を送ることができるよう「山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画」を策定し、各施策の展開に取り組んで参ります。

（*1）「スポーツ基本計画」：スポーツ基本法に基づき、スポーツに関し基本的理念を定め、国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めています。

2 スポーツによるまちづくり推進計画の位置付け

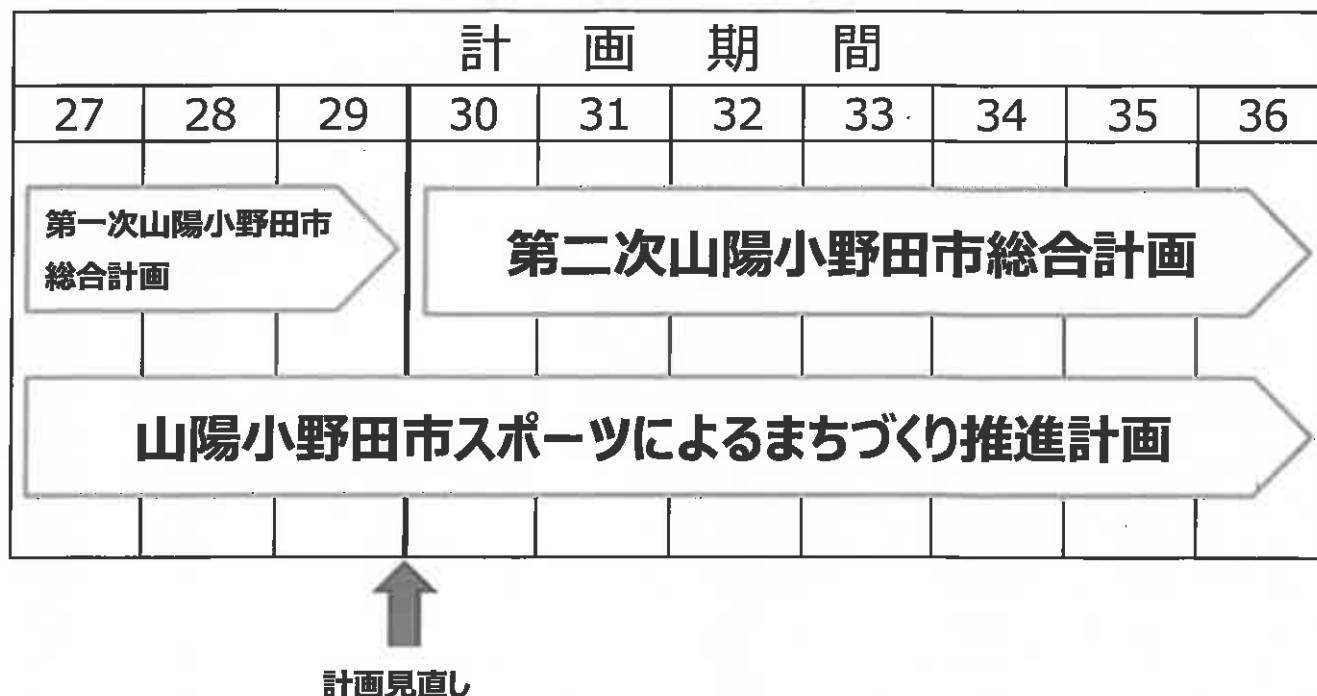
本計画は、「第一次山陽小野田市総合計画」を基本に「山陽小野田市健康づくり推進計画」をはじめとする関連計画との連携を図るとともに、「スポーツ振興法」（昭和36年制定）並びに国の「スポーツ振興基本計画」（平成12年制定）や新たに掲げられた「スポーツ立国戦略」、そして山口県の「スポーツやまぐちきらめきプラン」（平成13年制定）の趣旨を踏まえ、山陽小野田市の生涯スポーツ振興の理念や方向性、取組内容について示すものです。

第一次山陽小野田市総合計画における重点戦略プロジェクト



3 計画期間

本計画の期間は平成27年度から平成36年度までの10年間とし、山陽小野田市総合計画の見直し時には、併せて本計画も見直しを行います。



4 スポーツの定義

この計画では、「スポーツ」を幅広く捉え、勝敗や記録を競うことを目指す競技活動のほか、余暇を活用して気軽に行うことができるウォーキングや体操のような軽い運動、野外活動、健康・体づくりのための身体活動など、全てを含みます。

イラストまたは写真掲載予定

第2章 スポーツを取り巻く環境

1 少子・高齢化と人口減少

本市の人口は、平成22年（2010年）の国勢調査によると、64,550人で、全国的に人口減少社会になる中、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると平成37年（2025年）の本市の人口は約56,600人となり、総人口に占める65歳以上の人口割合を示す高齢化率は35.1%に上昇すると見込まれています。少子・高齢化の進展と人口減少の進行により、コミュニケーションの機会の減少、家族や地域の支え合う機能の低下などが懸念されます。今後、更に高齢化が進行することから、高齢者の健康維持や豊かで充実したセカンドライフを過ごすための環境も整えていく必要があります。スポーツは、学校・家庭・地域・スポーツ団体の連携により、子どもから高齢者まで体力・運動能力の維持・向上、競技力の向上などが図られるだけでなく、心と体の健康づくりが図られます。

また、それぞれのライフステージに応じた交流は、生きがいづくりに貢献することが期待されます。

人口推移表を掲載予定

2 子どもの生きる力

少子・高齢化や核家族化による家族形態の変化、地域社会の繋がり希薄化、高度情報化社会の進展に伴い、子どもを取り巻く環境が変化しています。日常生活の中では、家庭の教育力・地域の教育力が低下しており、特に子どもの自律心、克己心、規則を守る心、協調性など社会で生きていく力の低下が見られます。

また、子どもの体力に関しては、平成25年（2013年）12月14日公表された「平成25年度全国体力テスト」（*4）によると、体育授業を除く1週間の運動時間を中学校2年生女子の23.5%が「ゼロ」と答え、3年前より6.2ポイント増加しており、部活動やスポーツクラブに所属し日常的に運動する生徒とそうでない生徒の二極化が浮き彫りになりました。

（*4）：……………

山口県で前年度から数値が向上したのは、小学校5年生女子と中学校2年生女子で、中学校2年生以外は全国平均を下回っています。この中では、「土日に運動している。生徒の割合と学校の取組との関連についても調査しており、「地域・家庭との連携」+「地域連携（運動の機会）」+「個人差・発達を考慮」+「保護者への働きかけ」など、複数の体力向上に向けた取組をしている学校は、「土日に運動している。」生徒の割合が90.4%と非常に高くなっています。学校・家庭・地域・スポーツ団体が連携し一体となった、子どものスポーツへの動機付け、体力の向上、心身の健全な発達などに向けた一層の取組が求められます。

3 地域の連帯感

少子・高齢化、価値観の多様化などにより、地域活動への参加者が減少しており、近所付き合いも減り、地域における子ども同士の交流や、家族や地域の中での様々な人々との触れ合いの機会が減少し、地域の連帯感の低下をもたらしています。

連帯感を醸成し強化するためには、市民一人ひとりがそれぞれの立場で地域社会に参加し、協力していくことが重要であり、特に高齢者は、これまで培ってきた経験や能力を活かした積極的な参加が求められています。このような状況の中、スポーツにより人と人との交流を促進し、地域力の向上に貢献することにより地域の連帯感を強化することが期待されます。

4 健康志向

食生活の変化に伴う栄養の偏り、肥満、メタボリックシンドローム、生活習慣病の問題が増える中、健康志向の高揚により、健康を維持し保つための環境づくりや生活習慣の改善の取組が始まっています。スポーツは、身体機能を高め生活習慣を改善し、市民の健康づくりに貢献することが期待されます。

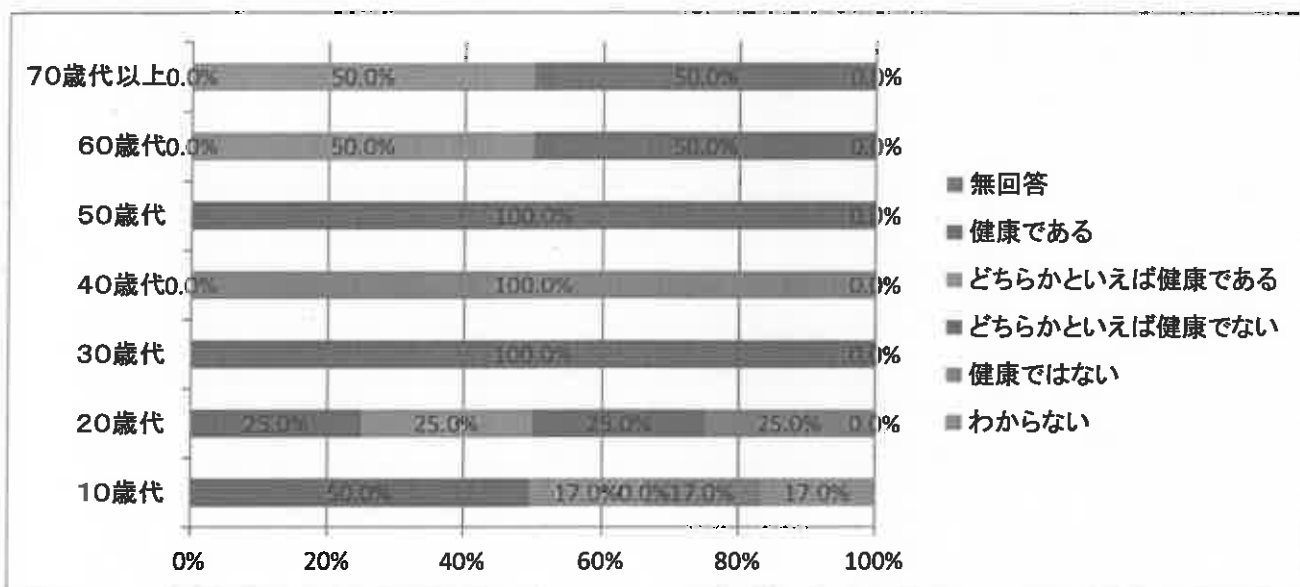
イラストまたは写真掲載予定

第3章 本市のスポーツを取り巻く状況

1 市民のスポーツに対する意識

(1) 健康状態

市民を対象に平成26年（2014年）●月に実施した「スポーツに関するアンケート」（以下「アンケート」とする。）によると、市民の健康に対する意識は、「健康である」が●●%、「どちらかといえば健康である」が●●%となっており、全体の約●●%が健康であると回答しています。



(2) 体力

アンケートによると、自分の体力について「不安がある」が●●%、「どちらかといえば不安がある」が●●%となっており、自信があるとする回答を●●しています。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(3) 運動不足

アンケートによると、運動不足を「大いに感じる」が●●%、「ある程度感じる」が●●%となっており、市民の●人に●人が運動不足を感じています。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(4) スポーツの実施

アンケートによると、「現在、何かスポーツをしている」と回答した人のスポーツ実施頻度については、「週に2回以上」が●●%、「週に1回程度」が●●%となっており、スポーツをしている人の●●は、週に2回以上スポーツを実施しています。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(5) スポーツをしている理由

アンケートによると、スポーツをしている人のスポーツを行った理由は、「健康維持・体力づくり」が●●%、「生活習慣病の予防」が●●%、「運動不足の解消」が●●%となっています。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(6) スポーツの種類

アンケートによると、「スポーツをしている人」がどのようなスポーツをしているかについては、「ウォーキング」、「体操（ラジオ体操、職場体操など）」、「●●」の順になっています。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(7) スポーツボランティア

アンケートによると、「この1年間に関するボランティア活動に参加したことのある人」の割合は、●●%となっています。

また、●●%の人が、「今後、スポーツボランティアを行いたい」と回答しています。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(8) スポーツを行っている場所

アンケートによると、スポーツを行っている場所については「自宅及び近くの公園」が●●%、「スポーツ施設（公共）」が●●%、「学校の体育施設」の●●となっている。

大半の方が、スポーツ施設（公共）と学校の体育施設でスポーツを行っていることが分かる。今後、民間施設も積極的利用を推進できるような体制、PRに努めることが必要である。

アンケート結果のグラフを挿入予定

(9) スポーツ施設を利用する上での要望

アンケート結果のグラフを挿入予定

(10) これからのスポーツ施設のあり方

アンケート結果のグラフを挿入予定

(1 1) 今後のスポーツ推進するための重要事項

アンケート結果のグラフを挿入予定

2 スポーツ施設（公共）の利用状況

・市内のスポーツ施設については、利用が以下のようにあります。

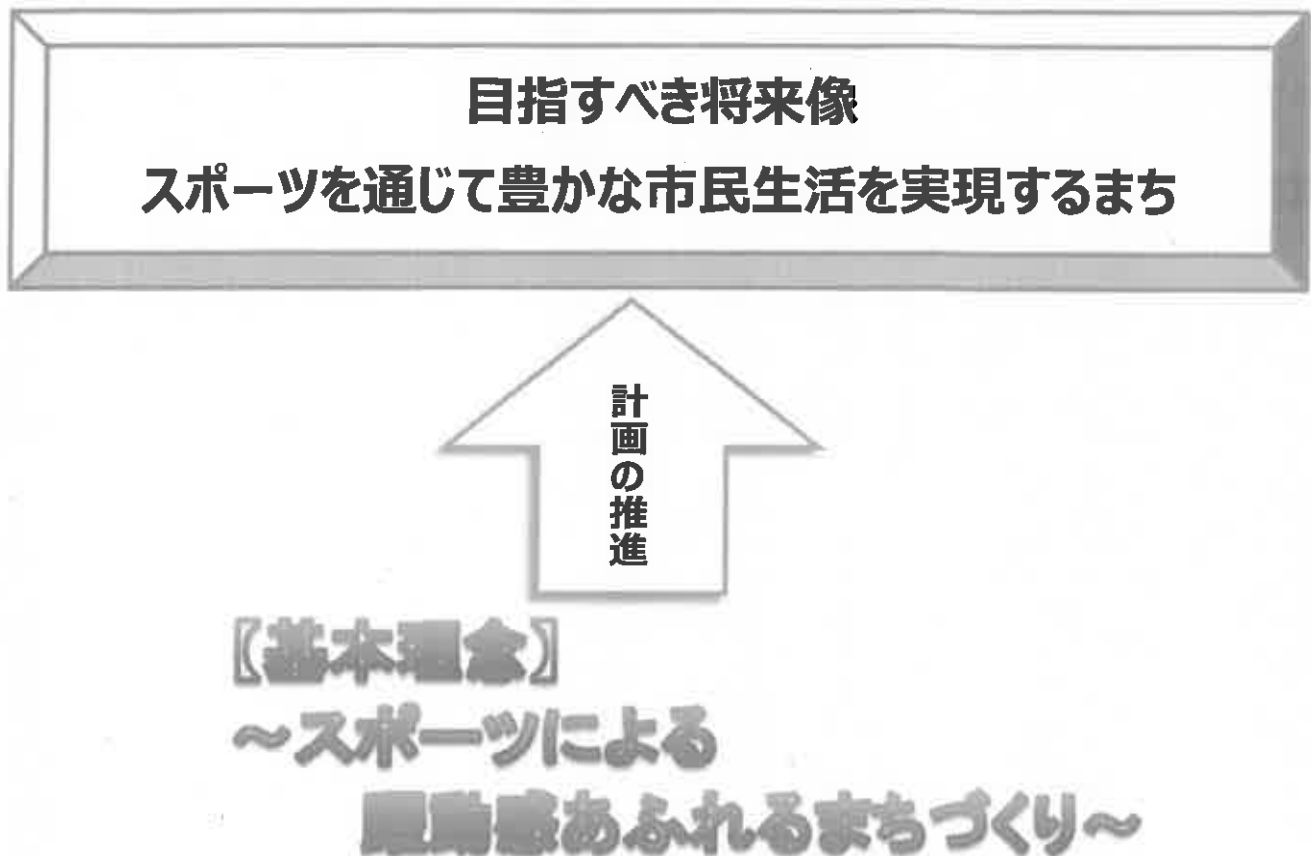
利用状況のグラフを挿入予定

利用状況のグラフを挿入予定

第4章 計画の基本的な考え方

1 基本理念（目指す姿）

本市では、市民の誰もが心身ともに健やかで暮らすことができ、また、スポーツのもつ多様な力を様々な分野で活用することにより「スポーツによる躍動感あふれるまちづくり」を本計画の基本理念（目指す姿）とします。



2 基本目標

週1回以上スポーツを行う割合

平成26年度 % ⇒ 平成36年度までに〇〇%以上にす

- ◆市民自らが、より一層自主的にスポーツに参加・参画するとともに、市民、地域、スポーツ関係団体等と行政が協働することによる、豊かなスポーツ活動の展開を図ります。
- ◆スポーツ活動を通して“ひと”と“まち”を、豊かで元気そして活力に満ちたものにします。
- ◆本計画の基本目標の実現に向け、各種取組を展開します。

3 基本方針

1 生涯スポーツの推進

- 市民一人ひとりが年齢・体力・関心・適性に応じて「いつでも、どこでも、いつもでも」スポーツを気軽に親しむことができるようにします。
- スポーツを「する」のみではなく、「支える」（応援する・運営する・育てる・感動を分かちあう）、「みる」（観戦する）活動に参画でき、多様な係わりを通じて市民の誰もが心身ともに健康で暮らせるようにします。

2 競技スポーツの推進

- 各種競技団体の競技力向上のため、大規模な大会等の開催を支援するように努めます。
- 地域における競技団体及びスポーツ少年団との協働し、優れた資質を持つ選手の発掘・強化を支援します。
- トップアスリートによるスポーツ教室を実施し、市民がトップレベルの技術に触れる機会を提供します。

3 「人財」の育成

- スポーツは将来を担う子どもたちにとって生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を養うとともに、公正さや規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成にとって重要な役割を果たします。
- 将来を担う貴重な「人財」を育成するため、スポーツ活動を通じ、心身の成長過程にある子どもたちが、生涯にわたりたくましく生きるための健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎を築くことができるようにします。
- スポーツ指導者やスポーツボランティアなどスポーツを支える「人財」の育成を図ります。

4 地域社会の活性化と環境整備

- スポーツは、人と人との交流や地域との交流を促進し、また、地域の一体感を醸成し、地域の活性化を図る大きな役割を果たします。
- 地域の資源や特性を活かし、また、スポーツのもつ多様な力を活かすため、スポーツ推進のための環境づくりに取り組みます。
- 市内のゴルフ場、サッカー場、野球場などのスポーツ施設を活用し、地域の発展を図ります。
- プロスポーツを活用したまちづくりに取り組みます。

第5章 施策推進のための取組

基本方針 1 生涯スポーツの推進

1 生涯スポーツの環境整備

現状と課題

☞ アンケートによると、スポーツ習慣について「現在、何かスポーツをしていますか。」の問いに対し、「していない」と回答した人は、全体の●●%となっています。

☞ この「していない」と回答した●●%が、スポーツをするための条件は、「身近なところに参加できる催しものがあれば」、「体力や好みにあったスポーツができれば」、「気軽に参加できるスポーツ教室があれば」が上位になっており、スポーツへの参加を推進していくためには、身近で気軽なスポーツに参加できる環境を整えることが必要であります。

取り組む方向性

■ スポーツ活動をする機会の充実 ■

- ・誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、ライフスタイルやニーズなどに応じて、自主的に参加できるスポーツイベントの開催を促進します。
- ・平成27年（2015年）には、第28回全国健康福祉祭（ねんりんピック）が山口県で開催されます。本市もサッカー競技の会場で、多くの市民が参加するとともに、本市をPRする絶好の機会と捉え、これを支えて参ります。
- ・障害のある方の自立と社会参加、交流の促進を図るため、各種スポーツ大会の開催や参加機会の拡大に努めて参ります。

■ スポーツへの積極的な参加に向けた普及・啓発 ■

- ・スポーツへの関心と理解を深め、スポーツへの「する、観る、支える」立場からの積極的な参加を促進するため、地域におけるスポーツ推進の中核となる「スポーツ推進委員（*6）」と連携し、スポーツの普及・啓発に努めます。
- ・スポーツに対する関心とスポーツを行う意欲を高めるため、スポーツで優秀な成績を収めた選手やスポーツ普及・発展に尽力し、又はスポーツの振興に顕著な功績があった個人・団体を表彰します。

（*6）スポーツ推進委員：スポーツ基本法第32条第2項で定められたスポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整や市民に対するスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う方々です。

2 地域スポーツ推進拠点の整備

現状と課題

☞地域で市民が主体的に参加できるスポーツ環境を整備することは、生涯を通じたスポーツ活動の基礎となるものであり、総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域スポーツクラブが地域スポーツの拠点としての役割を担うことができるよう、計画的な育成と活動の充実を図ることが必要であります。

市内の総合型クラブは、平成26年4月現在で2クラブあり、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるという観点から、今後どのようにして拡大するか検討することが必要であります。

☞山口県が、設置済みの総合型地域スポーツクラブを対象に平成24年度に実施した「活動状況調査」によると、運営を継続していく中で課題として、「会員の確保（増大）」「指導者の確保」「財源の確保」が上位にあげられます。

■総合型地域スポーツクラブ設立の拡大・充実■

・今後、既設の総合型地域スポーツクラブを先進事例とし、地域活性化の拠点となるクラブの拡大を図ります。

・活動に関する更なるPRと安定的な財源を確保するための受託事業の検討が必要となります。

・総合型地域スポーツクラブの設立・運営の上で、最も重要になるのがクラブマネージャーの養成・確保を図るため、山口県が主催するクラブマネージャー講習会の参加を促します。

・総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会などと連携することにより、クラブ間の情報交換や先進的な取組を学び、マネジメントの習得に努め、総合型地域スポーツクラブの地域への定着・発展を図ります。

写真を挿入予定

3 健康及び体力の保持増進

現状と課題

- ☞一人でも多くの市民が日常的にスポーツに取り組むことができるよう、活動しやすい環境を整備することが必要であります。
- ☞運動習慣のある人の割合が、他の世代と比較して低い青年期・壮年期の運動習慣の定着の促進と意識の高揚が重要であります。
- ☞介護予防の視点から、加齢に伴う体力、運動能力の低下を防止するため、社会生活に必要な運動機能を維持・向上を図るなど、壮年期からの対策を積極的に進めることが必要であります。

取り組む方向性

■健康づくりの積極的推進■

- ・生活習慣病対策や特定健診・特定保健指導、介護予防に関連する施策等に取り組むとともに、スポーツドクター、スポーツトレーナー等を活用し、加齢に伴う体力、運動能力の低下を防止し、市民の健康づくりを図ります。
- ・高齢期においても、社会生活に必要な運動機能を維持し、健康寿命の延伸を目指すため、予防対策に取り組めます。

4 障がい者スポーツの推進

現状と課題

- ☞障がいのある人のスポーツ参加を促すことは、自立や社会参加の促進にもつながります。また、スポーツを通じて、障がいのある人も、ない人も誰もが相互に人格と個性を尊重し、支えあう共生社会への一助となることが期待されます。
- ☞障がい者スポーツの更なる普及や発展を図るため、自主的かつ主体的に参加できる環境づくりを推進していく必要があります。

取り組む方向性

■障がい者スポーツの機会創出■

- ・障がい者スポーツについての啓発及び情報発信などを促進し、誰もが楽しめる環境整備に努めます。
- ・障がいのある人のスポーツ機会の創出と社会参加の促進を図ります。

基本方針 2 競技スポーツの推進

1 競技スポーツの環境整備

現状と課題

各スポーツ競技では、体育協会に加盟しているスポーツ団体をはじめ、スポーツ少年団や職場等で活動して団体等は、地域における子どものスポーツ活動の場として重要な役割を担っています。しかし、近年の少子化や指導者の高齢化などの社会情勢の変化などから様々な課題も生じており、環境の変化を踏まえながら競技スポーツの活性化を図ることが必要となります。

本市のスポーツ少年団の登録状況は、平成26年1月現在、14種目、52団体、団員数は997人（男子679人、女子318人）となっています。

市内の児童数に占める加入率は27.5%で、県平均25.7%を上回っているものの、団員数は、年々減少傾向にあり、各小学校の枠を超えて結成されたものもある状況であります。

取り組む方向性

■ スポーツ少年団活動の充実 ■

・多くの子どもたちが、地域に根ざしたスポーツ少年団活動を通じて、生涯にわたってスポーツに親しむための基礎を身につけることができるよう、市体育協会等の各関係団体と連携してスポーツ少年団活動の充実に努めます。

取り組む方向性

■ 指導者育成の推進 ■

・指導者が、各スポーツでの優れた指導者から講習等を受けることで、市内の競技スポーツ力の向上へつなげるよう支援します。

基本方針3 「人財」の育成

1 将来を担う「人財」の育成

(1) 子どもの体力向上・豊かな人間性のかん養

現状と課題

☞体を動かすことを通じて、子どもたちの心身の健全な成長を促すためには、幼少期からスポーツに親しむことが必要です。本市においても、子どもたちがスポーツを経験するうえで重要な役割を果たしているスポーツ少年団活動等の充実を図り、子どもたちがスポーツに親しむ機会の確保・充実を進める必要があります。

取り組む方向性

スポーツをする機会の充実

- ・地域で子どもがスポーツをする機会の充実・確保を図るため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の活動を支援します。
- ・スポーツ少年団活動の活性化や指導者の育成・資質の向上等を通じて、子どもたちがスポーツに親しみ、運動の基礎動作を身につける機会の充実を図り、併せて、公正さや規律を尊ぶ態度や克己心を養うなど、心身の健全な育成を図ります。

(2) 学校体育の充実

現状と課題

☞生涯にわたり運動やスポーツに親しむためには、体育の授業や運動の部活動などを通じて、スポーツの楽しさに触れることや、自分にあったスポーツを見つけることが必要であります。このため、子どもの実態を踏まえた地域と連携した取組が必要であります。

取り組む方向性

運動習慣の定着

- ・本市の子どもの体力等の状況を把握しながら、運動習慣の定着と体力向上を図っていくために、学校生活においても子どもたちが定期的・継続的に運動を行う場や時間の確保に努めます。
- ・子どもたちが運動の楽しみを味わい、自分に合ったスポーツを見つけることができるよう、食事・運動・睡眠の生活リズムの形成に向け取組を充実させます。

2 スポーツを支える「人財」の育成

現状と課題

☞市民のニーズに応じたスポーツ活動が楽しく安全に、また効果的に行えるよう、地域のスポーツ指導者やクラブマネージャーなどの多様な「人財」を育成し、有効に活用することが重要であります。

☞国において、今後、東京オリンピック、パラリンピックを契機に、スポーツボランティア活動を行っている個人や団体を対象に活動実態を調査し、必要な技能や研修プログラム、ボランティアの運営方法などをまとめたガイドブックを作成し、全国の自治体に配布する予定との報道がされています。

取り組む方向性

■ 支える「人財」との連携強化 ■

- ・地域スポーツの推進を担うスポーツ推進委員やスポーツボランティア、総合型クラブのクラブマネージャー、スポーツ指導員などとの連携を強化します。
- ・大規模なスポーツイベントの開催や地域のスポーツ活動において、スポーツボランティアの存在は重要であります。第一線を退いた団塊の世代に要請するとともに、ボランティア活動の功績を称える制度を検討します。
- ・山口県と連携し、スポーツボランティアの登録制度（ボランティアバンク）の活用を図り、スポーツ活動への参加を促進します。

写真を挿入予定

基本方針4 地域の活性化と環境整備

1 スポーツによるまちづくりの推進

現状と課題

☞全国の多くの自治体は、スポーツによる地域活性化に高い関心をもっています。スポーツを通じた地域活性化に対して「（非常に・やや）関心を持っている」とする地方自治体は全体の7割近くになっています。

本市もスポーツを通じて、県内外から多くの人々が訪れており、今後もスポーツイベントの開催を通じて、地域の活性化を図ることが必要であります。

☞山口県のプロスポーツチームであるレノファ山口のホームタウンに平成26年9月に承認されました。レノファ山口とパートナーシップを組んで、様々なまちづくり事業に取り組んでいく必要があります。

取り組む方向性

■ 魅力あるスポーツイベントの開催 ■

・スポーツイベントを通じて、対外的に本市の情報を発信し、交流人口を増やすことにより本市の知名度をあげます。

・市のイメージアップ効果を創出し、シティーセールスや観光振興につなげます。

・スポーツイベントを媒介として、人財育成を図り、良好なコミュニケーションを形成します。

・スポーツ観光による施策を展開し、本市の更なる飛躍を目指します。

・プロスポーツチームであるレノファ山口を活用して、市外への情報発信や地域活性化を推進します。

写真またはイラストを挿入予定

2 施設整備の充実と利用促進

現状と課題

- ☞ 地域住民の多様なスポーツのニーズに幅広く対応するため、学校施設を含む施設を積極的に開放し、利用の促進を図る必要があります。
- ☞ 市内の体育施設は経年劣化が進んでいるため、補修や改修を行う必要があります。

取り組む方向性

- ☞ 休日等にグラウンド、体育館などの学校体育施設を地域の住民が利用しやすくするために、利用調整が進むよう取り組みます。
- ☞ 山口東京理科大学や市内の各企業が所有しているスポーツ施設を市民が活用しやすくするために、大学や企業の協力を得ながら、休日等の利用促進を図ります。
- ☞ 各スポーツ施設や県立サッカー交流公園の利用促進を図るため「我がまちスポーツ」の競技大会を含め、他競技のトップアスリートによるスポーツ教室など魅力ある多彩なイベントの開催を今後も進めて参ります。
- ☞ 老朽化が進む公共スポーツ施設の計画的・年次的な補修に努めて参ります。

写真またはイラストを挿入予定

市内の公共スポーツ施設一覧

施設名		敷地面積	施設内容
市民体育館		9,695㎡	競技面積1,628㎡ (44m*37m)
武道場	柔剣道場	4,987㎡	柔道344㎡ (198畳) 剣道344㎡
	弓道場		延床370㎡ 射場272㎡
アーチェリー場		1,439㎡	射場77.85㎡ 的場36㎡ 距離70m、50m、30m
市民プール		5,500㎡	50m*9コース 25m*5コース 幼児プール (630㎡)
市野球場		29,743㎡	競技面積12,516㎡ (センター119m、両翼92m)
サッカー場		18,281㎡	競技面積11,875㎡ (125m*95m)
小野田運動公園		18,000㎡	競技面積12,100㎡ (110m*110m) 夜間照明 (6基48灯)
赤崎運動広場		13,062㎡	競技面積9,604㎡ (98m*98m)
高千帆運動広場		12,836㎡	競技面積9,819㎡ (98m*109m)
岡石丸運動広場		40,884㎡	競技面積12,600㎡ (100m*126m)
厚狭球場		10,985㎡	競技面積8,788㎡
下村テニスコート		1,431㎡	コート2面
有帆コミュニティ体育館		2,380㎡	競技面積762㎡
高千帆コミュニティ体育館		2,134㎡	競技面積384㎡
高泊コミュニティ体育館		3,906㎡	競技面積754㎡
本山コミュニティ体育館		6,484㎡	競技面積763㎡
市民館 (体育ホール)		16,528㎡	競技面積2,652㎡
赤崎公民館 (大講堂)		3,939㎡	競技面積722㎡
青年の家	体育館	1,239㎡	競技面積720㎡
	運動広場	16,000㎡	野球2面、ソフトボール、サッカー他 (夜間照明付)
	テニスコート	2,400㎡	コート3面 (夜間照明付)
労働会館 (大ホール)		2,932㎡	競技面積378㎡ (16m*23.6m)
浜河内緑地公園庭球場		4,848㎡	庭球コート8面 (クレイコート)
須江健康公園	コミュニティ体育館	3,026㎡	競技面積567㎡ (18m*31.5m)
	庭球場	6,827㎡	庭球コート8面 (オイルクレイコート)
	運動広場		競技面積4,000㎡
東沖緑地庭球場		2,800㎡	庭球コート4面 (全天候ウレタンコート)
江汐公園	キャンプ場	10,000㎡	テント40張
	テニス場	3,200㎡	テニスコート4面 (砂入人工芝)、トイレ、更衣室、シェルター2基
竜王山公園オートキャンプ場		10ha	個別サイト、広場サイト、トレーラーハウス、テント他
県立おのだサッカー交流公園		8.1ha	サッカー場1面 (天然芝) (105m*68m) (夜間照明4基) 多目的グラウンド (人工芝コート2面) (166m*120m) (夜間照明8基)